

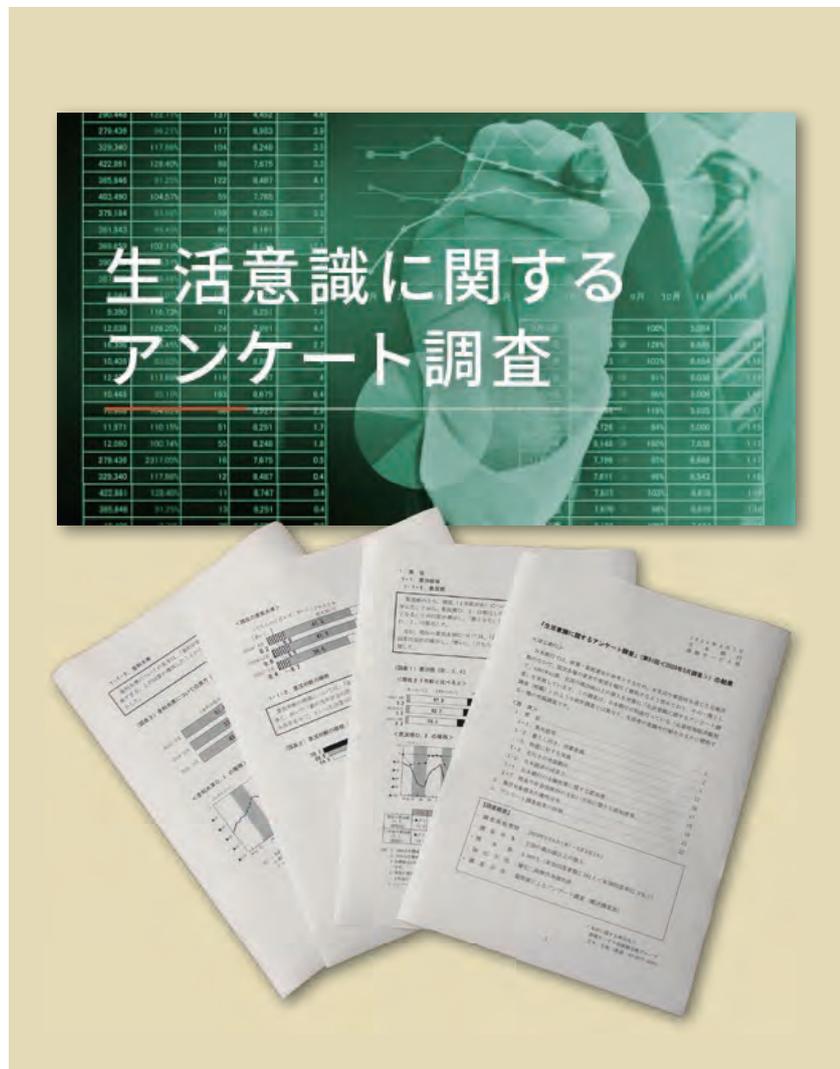
**新型コロナウイルス感染症
に関連した日本銀行の取
組みについて**

▼日本銀行では、三月十四日（土）に、総裁を本部長とする新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、政府、地方公共団体、金融機関等との連携のもと、中央銀行として必要な業務を継続して行うため、所要の対応を進めています。新型コロナウイルス感染症に関連した日本銀行の取り組みについては、日本銀行ホームページをご覧ください。



**第八二回生活意識に関する
アンケート調査の結果を公
表します**

▼日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本支店や



事務所を通じた広報活動のなかで、国民各層の意見や要望を幅広く聴取するよう努めており、その一環として、一九九三年以降、全国の満二〇歳以上の個人四千人を対象に「生活意識に関

するアンケート調査」を実施しています。▼この調査は、日本銀行が別途行っている「全国企業短期経済観測調査（短観）」のような統計調査とは異なり、生活者の意

識や行動を大まかに聴取する一種の世論調査です。▼アンケートのタイトルに「生活意識」とあるように、回答者の生活に対する実感を尋ねる質問が中心となっています。ま

編集後記

■このたび編集長に就任しました。日本銀行に入行して32年目となりますが、これまでは主に金融システム関係や業務企画関係の仕事に携わってきました。広報誌の作成という初めての仕事に期待をふくらませています。

さて、本号「インタビュー」では、オリンピック金メダリストの室伏広治氏にご登場頂き、日本人にとって体格的に不利なハンマー投げという競技において、いかに世界の壁を乗り越えてきたかをお伺いしました。一方、コロナウイルス感染症の影響により取材が難しくなり、「対談／守・破・創」や「地域の底力」を掲載することができなくなりました。楽しみにして下さっていた読者の皆さまには大変申し訳ございませんが、ご理解を頂ければ幸いです。

日本銀行への親しみをを持って頂けるよう、引き続き広報誌「にちぎん」の内容の充実につとめ、皆様にご愛読頂ける誌面を目指してまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。(林)

※本誌は、全国の日本銀行本支店および貨幣博物館、旧小樽支店金融資料館等でお配りしています。個人の方の定期購読、郵送はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文をPDFファイル形式で日本銀行ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。

(https://www.boj.or.jp/announcements/koho_nichigin/index.htm/)

※本誌に掲載している内容は、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。日本銀行の政策・業務運営に関する公式見解等については、日本銀行ホームページ (<https://www.boj.or.jp/>) をご覧ください。

にちぎん 2020年夏号

編集・発行人 林 新一郎

発行 日本銀行情報サービス局

〒103-8660

東京都中央区日本橋本石町 2-1-1

☎ 03-3277-2405



デザイン 株式会社市川事務所

印刷 文唱堂印刷株式会社

禁無断転載

た、日本銀行のことをどの程度知っているか、どう思っているかや、日本銀行の業務に関連するトピックスについても質問しています。

▼一度に多くの方から、生活に関する意識やご意見を伺うことができるため、日本銀行の広報および広聴活動にとっても非常に貴重な機会となっております。

▼調査は年に四回（三、六、

九、十二月）実施しており、二〇二〇年六月実施分（第八二回）の結果を七月七日（火）に公表する予定です。公表結果は日本銀行ホームページに公表しておりますのでぜひご覧ください。

